

施設名 自然の博物館

1. 数値目標による評価
(1) 全館共通項目

							評価基準	
							目標値の達成度(100%以上)	達成
							目標値の達成度(100%未満)	未達
							昨年度2~3月分の数字を足して算出	達成見込
	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	112,240	人	未達	前年度実績を基に算出	
				103,656	人			
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	100,790	人	未達	基準値:80,933人 目標参考値:100,788人	
				85,385	人			
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	690	件	未達	基準値:541件 目標参考値:681件	
				377	件			
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	10,194,000	円	達成	当該年度予算計上額	
				10,306,271	円			

(2) 館別独自項目

							評価基準	
							目標値の達成度(100%以上)	達成
							目標値の達成度(100%未満)	未達
							昨年度2~3月分の数字を足して算出	達成見込
	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	資料	収集・整理	新規登録数	1,050	点	未達	目標数	
				814	点			
2	資料	展示活用	利用数	1,800	点	達成	目標数	
				2,124	点			
3	展示	常設展	満足度	80	%	達成		
				97	%			
4	展示	特別展・企画展	満足度	80	%	達成		
				96	%			
5	学習支援	学校教育への支援	出前授業及び観察指導	50	件	未達	昨年度実績を参考	
				43	件			
6	学習支援	社会教育等への支援	外部施設・周辺環境への派遣件数	40	件	未達	昨年度実績を参考	
				18	件			
7	情報発信	インターネットの活用	ツイート数	250	回	未達	昨年度実績を参考	
				128	回			
8	調査研究	成果発表	研究成果の発表	12	件	達成	学芸系職員一人1件	
				32	件			

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>4 共催展の実施</p> <p>5 関係機関との連携</p>
事業の実施状況と過程	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>(1) 化石発掘体験バスツアーの企画 11/9</p> <p>(2) 保存活用計画の策定 策定委員会の開催 7/10 9/27 12/23 2/12</p> <p>(3) 古秩父湾スタンプラリーの実施 4/1～28</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>(1) 生物展示ホール鍾乳洞コーナー改修 1月</p> <p>(2) 地学展示ホール地史コーナー改修 1月</p> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>(1) 要注意！野外の危険なもの 4/1～6/23</p> <p>(2) 知って！埼玉 化石でたどる2000万年 7/6～1/13</p> <p>(3) 地図と模型で見る埼玉の大地 (2/11～3/31) ※2/29～新型コロナウイルス対策のため休館</p> <p>4 共催展の実施</p> <p>(1) 「埼玉の自然を楽しむ」 7/13～8/26 羽生市立郷土資料館</p> <p>(2) 「水晶展」 7/10～7/28 飯能市市民活動センター</p> <p>5 関係機関との連携</p> <p>(1) 青もみじライトアップの実施(長瀬町観光協会) 5/10～6/30(金・土・日)</p> <p>(2) 長瀬観光の日(長瀬町観光協会) 7/16</p> <p>(3) NEXCO東日本スタンプラリーへの参加 8/1～11/30</p> <p>(4) SLミュージアムトレインへの協力(秩父鉄道) 8/30</p> <p>(5) 紅葉ライトアップの実施(長瀬町観光協会) 11/1～24</p>
事業の成果	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業 バスツアーやスタンプラリーの実施により古秩父湾の魅力をアピールするとともに、集客につなげることができた。また、「保存活用計画(案)」をまとめ県教育委員会へ報告した。</p> <p>2 常設展の充実 鍾乳洞コーナーのスポット照明をLEDに変更するとともに、ジオラマ内の剥製等の配置に変更を行い、さらに、地史コーナーの岩石資料を入替えるなど観察しやすくした。</p> <p>3 特別展、企画展の実施 特別展は6か月を超える長期間の展示を行い、埼玉で発掘された化石を多角的に紹介するとともに学芸員をはじめ専門家の講演を行い研究の成果をわかりやすく伝えた。</p> <p>4 市町村支援(共催展の実施) 市町村支援を通じて当館から遠方の県民に埼玉の自然を紹介することができた。</p> <p>5 関係機関との連携 関係機関と連携して効果的な情報発信や事業展開を図ることができた。</p> <p>※ 10月の台風19号の影響、さらに、新型コロナウイルス感染症対策で2/29から休館したことで、利用者数をはじめ、未達となる項目が増えてしまった。</p>

基礎データ

職員数 (学芸員数)	19人 (9人)	総予算額 (人件費を除く)	29,092,000 円	職員一人あたりの県民人口	38.6 万人
収蔵資料総点数 (H31.3末現在)	164,332点	事業経費 (上記の内数)	20,462,000 円	利用者一人あたりのコスト (平成30年度)	284 円
平成30年度 収集資料点数	1,019点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	10,194,000 円 (9,096,230 円)	県民人口に対する利用者割合 (平成30年度)	1.54%

(注)平成31年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,326,981人である